

## 亀山で初めて“車イスフォークダンスの集い”を開催

### 亀山車イスフォークダンス同好会

10月13日 社会福祉センターで亀山市で初めての“車イスフォークダンスの集い”を開催しました。講師は車椅子ダンス普及会鈴鹿支部の岸ともえ、三村清子の両先生にお願いをして、約50名の参加者が楽しいひとときを過ごしました。

1部 亀山フォークダンスサークル20名によるダンスの発表 テネシーワルツ他3曲

2部 車イスダンスのレッスンを受けながら、手のひらを太陽に他3曲を参加者全員で練習

3部 みんなでうたおう 上をむいて歩こう、ふるさと、赤とんぼ等をダンスも混じえ合唱

当初、参加人数が少ないのでは・・・と心配していましたが、鈴鹿市、四日市市の車イス同好会の方達にも参加していただき、楽しく“ダンスの集い”ができました。

今後は、同好会の仲間を増やし、年齢や性別、障がいの有る無しに関わらず、誰もが気楽に交流できる雰囲気づくりを、そしていつまでも“青春”という言葉ポケットに入れ、健康の大切さとありがたさを大事にしていきたいと考えています。

※現在、車イス同好会の会員を募集しています。

《今後の予定》

○ 平成20年3月 第2回“車イスフォークダンスの集い”開催

○ 平成20年4月 車イスダンスインストラクター養成講座参加

連絡先：亀山市市民協働センター（電話84-5800）内 亀山車イスフォークダンス同好会（渡辺）



## KIFA 亀山国際交流の会 外国語の本の読みきかせ

### 「市橋隆雄さんを支える会」も同時に展示

亀山市立図書館で

KIFA 亀山国際交流の会では10月25日から約1週間、亀山市立図書館で外国籍の皆さんの統計資料や活動の展示をしました。

また28日には、外国籍の子どもたちを対象に絵本の読み聞かせを開催。日本語に加え、スペイン語とポルトガル語で読み上げ、子どもと保護者の方を合わせ約十数名が参加しました。

「市橋隆雄さんを支える会」は、亀山出身でケニヤで幼稚園を運営するなど教育支援で活躍する市橋隆雄さん（58歳）のパネルを展示し、この9月に現地訪問したビデオも放映しました。





## 市民交流の日 レポート 10月21日(日) 19:30～ 市民協働センター

## テーマ 「長寿社会を生きる」

アドバイザー: デイサービス・グループホーム

「箕田の北さんち」施設長 伊藤正弘氏

伊藤正弘さんから: 養護老人ホームに21～2年勤め、  
鈴鹿市箕田地区にある認知症のグループホームに転職。  
現場の仕事を数年した後、昨年からは施設長に。

高齢化社会は25年後にはピークに達する。現在、要介護高齢者は16.2%で、85歳以上で60%が何らかの介護が必要である。要介護者の世帯の半数以上は高齢者単身世帯になる。認知症になると排泄の仕方もわからない場合がある。脳細胞の異常だから誰がいつ発症するかはわからない。若年性の痴ほうもあり、アルツハイマーも増えている。

女性は、親を看取った後、すぐ自分が看られる時期になる場合が多い。子育てから続いて自分の一生はなんだったのかということになる。ストレスをためないために公的サービスをうまく利用した方がよい時代である。しかし、施設の入居費に毎月10～15万円かかる。多い人で20万円くらいの人もある。私の施設では自分の年金で全額まかなえる人はいない。特別養護老人ホームに行きたい人も順番待ち。順番が来たときは既に死んでしまっていることが多かったが、今はポイント制になったので必ずしもそうではない。施設は、地元の人しか入れない地域密着型に変わってきている。また、小規模託老施設もできているがまだ数が限られている。

施設では徘徊癖があっても縛れない、尊厳を重視する。特別養護老人ホームには医者がいる。施設の職員を求職してもなかなか集まらない。なぜヘルパーの待遇が低いのか。毎日仕事が無いから時給はよくても給料は低い。介護保険上一人に2時間以上かかれないことになっている。



## 【皆さんの体験談、意見】

- ・60歳後半の父親の疾患で介護休暇をとった。寝たきりでない認知症は大変。外出したら帰ってこない。
- ・寝たきりは排泄の問題がある。特別養護老人ホームに入れてやっとほっとした。
- ・年寄りわがまま。すぐに意見が食い違い言い合いになる。しかし、そのことがボケ防止になるかもしれない。
- ・認知症になる要因は、男は退職後なりやすいとか、女性は介護から解放後なりやすいとか言われる。先のことをきちんと予定し考えていればなりにくいともいう。
- ・認知症患者の言うことは否定しないこと。「さっき食べたやろ」はだめ。「用意するから待っていてね」と言うとか。怒るばかりの家庭から、施設に来たらよくなることもある。
- ・いつも生き生きしていたらいい。役職を辞めたらだめダメ。
- ・認知症の始まりは1日1分間だけボケることから。正常な時間とボケ時間の区別がつかない。俗に「まだらボケ」とも言われる。
- ・認知症はよくはならないが進行が緩やかにはなる。
- ・痴ほうになったら本人は天国。正常なときに親孝行を。

次回は認知症にならないために何が出来るか?を考えよう。  
まだもっと知らなければいけないこともある。もっと勉強しないと。

次回11月21日のテーマは、「長寿社会に生きる私たちに何が出来るか?」です。他人事ではない大切なことです。ぜひ、この機会に、ご参加ください。







## 健康づくりは歩くことから

秋晴れの空のした、「健康づくりは歩くこと」を実践する催しが開催されました。10月14日は、「あいあい」からコスモス祭開催地「太田地区」の間、往復10kmを歩行、約50名の皆さんが最後まで歩き切りました。



翌週、21日にはクローバーフェスタの一環として「あいあい」からアイリス町を經由し、県茶業研究室までの4kmコースを歩きました。県茶業研究室では、職員から施設の案内とお茶の製造工程の説明を受けました。ほとんどの方が初めての見学となり充実したひと時でした。

さらに亀山あるこうかいクラブでは亀山南部を横切る古道「金王道」を歩く予定です。

金王道(こんのみち)とは尾張の地で最期を遂げた源義朝に仕えた金王丸が常磐御前に義朝の最期の様子を知らせに馳せ上ったと伝えられます。

日時: 11月25日(日) 9:30集合

行程: JR亀山駅スタート 和賀経由>天神観音山>阿野田>亀山駅 の全10kmコースです。

連絡先: 関町中町752-8 不破為和 電話 96-2532



## ぽっかぽかの会 ~ We are チャレンジド~ より

その1: 発達障害のお子さんを育ててみえるお母さんから就労や兄弟姉妹関係の話を伺います。

日時 11月17日(土) 13:00~15:30 受付12:30~

場所 総合保健福祉センター“あいあい”2階研修室

定員 50名 託児 定員7名(託児料一人200円)

《お母さんのご紹介》昨年度発達障害者地域自立支援の会『グローアップ』を立ち上げられました。最後は、地域の中で生きていくから地域の中で生活できる人にしたい・・・というのが、目標です。お子さんは小中高校と普通学級で過ごし、高校卒業後、一般就労された息子さんのお母さんと、小学校は普通学級、中学校は特別支援教室で過ごし、障害者就労枠で一般就労されている息子さんのお母さんです。

その2: 発達障害Q&A

発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)など)のお子さんをお持ちの保護者の方、是非ご参加ください。

お子さんについて、心配なこと、不安なこと、悩んでいること、誰に相談すればいいか迷うことなど、同じような立場の方が集まり、専門の先生方からアドバイスを受けながら、ざっくばらんにお話ししましょう。

日時: 11月30日(金) 10:00~12:00 ところ: 総合保健福祉センターあいあい2階大会議室

対象: 小学校3年生以下のお子さんの保護者 定員: 20名

アドバイザー: 保健福祉部子育て支援センター 佐藤暁子保育士、子ども総合支援室 岡 聡子保健師

監修: 保健福祉部子育て支援センター 宮崎道子センター長、子ども総合支援室 志村浩二室長

問合せ等: ぽっかぽかの会 浜野 Tel、Fax83-4956 E-mail y\_hamano@kpa.biglobe.ne.jp



## あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体の代表者の方に市民活動を始めたきっかけや、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

今回は、K I F A亀山国際交流の会代表 古市 修さんです。

20年ぐらい前、若い人が「フリーター」という言葉にあこがれ3K職場といわれた製造業を避け、とても人手不足の時期がありました。その時、それを補ってくれたのがいわゆる日系外国人でした。私の外国人との関わりはそこから始まりました。

定年で会社を離れた翌年2001年(平成13年)2月に初めて市民交流会「きらめき亀山21」が開かれ、よく判らないままに実行委員の一人として参加しました。その時、亀山のまちづくりへの課題が9つの分科会で話し合われ、その中のひとつが「国際交流」でした。参加者からは、どんどん増えていく外国人に対し、行政を含めほとんど手が打たれていない不満の声が一杯。愚痴のような話し合いの延長戦から、毎月会合を持ったのが会の母体となり、その年の10月に亀山国際交流の会(KIFA)がスタートしました。その後、亀山に住む外国人たちに少しでも楽しい思いをと様々な交流が始まり早や6年が経ちました。

いま大きなテーマは、単に交流するのではなく、どう彼らと共生するかです。

もし、あなたのお隣に外国人がいたら、どうしましょう。言葉は話せなくても身振り手振りで、お付き合いをしませんか? 顔を合わせれば「おはよう」と言い、「こんにちは」「こんばんは」と話しかけませんか。きっと楽しいお付き合いが始まると思います。

遠くで眺めているだけでなく、ただ思っているだけでなく、たとえ些細なことでも一歩踏み出すことが新しい展開となります。いろいろな国の人とお友だちになることは楽しいものです。亀山には25カ国の人々が住んでいるのですから、居ながらにして世界を旅行しているようなものですから。



## 関宿街道まつり開催される



江戸時代の宿場の街並みが残る関宿一帯で11月4日「東海道関宿街道まつり」が開かれ、仮装行列や手作りのみこしなどが練り歩く「宿場大行列」などのイベントに、見物客ら2万3千人が集まり賑わいを見せました。



メインイベントの宿場大行列は、ヤマトタケルなどの仮装行列11チーム、新名神高速道路の橋などの手作りみこし11チームなど、総勢約300人が参加。一行は500m程度の列になり、東の追分から西の追分まで約1.5kmを2時間ほどかけてゆっくりと行進しました。





## 私たちのまちの企業

企業との協働を一層推進するために、「企業の社会貢献活動」や「企業が行政と協働してまちづくりに参画している様子」などをご紹介します。

こんにちは  
日東電工株式会社  
亀山事業所です。



日東電工株式会社 亀山事業所は、昭和44年(1969年)に操業以来38年、地元地域との共存・共栄をモットーに地域の方々と共に成長・発展してまいりました。

近年、急激に進んでいく亀山・関工業団地開発の中、亀山市の特色である水と空気と自然を大切にす  
る意識を高く持ち、企業市民として、人、社会、自然との調和を目指して、地域社会に貢献していま  
す。

環境フェスティバル 緑をうえよう  
(工業団地内水辺広場)

事業所周辺クリーン活動

\*\*\*\*\*社会貢献活動\*\*\*\*\*

2007年

- ・環境フェスティバル 緑を植えよう
- ・事業所周辺清掃活動
- ・鈴鹿峠クリーン作戦
- ・(仮称)「市民の森」現地観察会
- ・第3期かめやま環境市民大学参加
- ・川と海のクリーン大作戦(鈴鹿川編)



亀山市神辺小学校3年生児童の皆さん



\*\*\*\*\*地域コミュニケーション\*\*\*\*\*

- ・日東電工旗争奪学童軟式野球
- ・亀山市納涼祭バザー協力
- ・亀山市神辺小学校・南小学校 工場見学

亀山事業所協賛の軟式野球大会は第八回を数え、亀山市納涼大会  
バザーには毎年参加しています。

また、今年は地元小学生が工場見学に訪れてくれました。  
製品紹介を通し、当事業所と科学に触れ親しんで貰える場として、  
これからも提供していきます。



子供たちの  
夢と未来を  
応援します



日東電工旗争奪学童軟式野球

偏光フィルム\*1を使っ  
て、液晶TVの原理を体  
感。  
子供たちに好評でし  
た。

\*1 偏光フィルム  
現在、日東電工でもっともポピュラーな製品。  
携帯電話・ゲーム機・カーナビ・家電の液晶画面全てに使用さ  
れています。  
じつは、これがないと液晶画面は見れないのですよ。

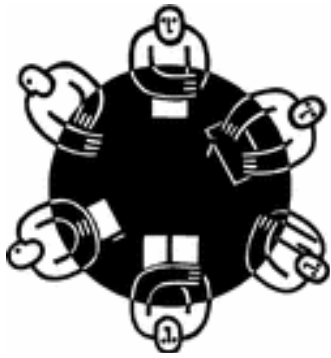


今後も地域とのつながりをはぐくむ為の活動に積極的に取り組んでいきます



## 11月の市民交流の日「きらめき亀山21」

日 時: 11月21日(水) 19:30~21:30  
場 所: 市民協働センター 申込み不要  
テーマ: 「長寿社会に生きる私たちに何ができるか?」  
講 師: 保健福祉部健康推進室



## 第8回市民交流会 来年2月24日(日)に決定

毎年恒例となっている市民交流会  
今回の会場は中部中学の予定  
テーマは「みんなでつくろう安心安全なまちづくり」



## コミュニティビジネス講座を開催します。 テーマ: ないものねだりから あるものさがし

日 時: 12月1日(土) 13:30~15:30  
内 容: 地域にあるもの・サービスとヒトをくっつけた、新しいビジネス?を  
考えてみませんか  
講 師: 地域創造研究所 代表 松本 圭史 氏  
定 員: 30名(申込期限11月26日(月))  
費 用: 無料  
主 催: (財)三重県産業支援センター、亀山市市民参画協働室



\*市民活動スキルアップ講座、コミュニティビジネス講座の申込先  
市民参画協働室 (電話84-5008・FAX82-1434)  
市民協働センター (電話84-5800・FAX84-5801)



## 市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています。

詳しくは、市民参画協働室 (Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@City.Kameyama.mie.jp) 又は、  
市民協働センター (旧百五銀行亀山支店跡 Tel.84-5800 Fax.84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.  
sakura.ne.jp) へご連絡ください。

編集作成: 「きらめき亀山21」広報部 (問い合わせ先: 亀山市市民部市民参画協働室 0595-84-5008)  
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 FAX 0595-82-1434 E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp  
この月刊新聞はこちらにもあります。【毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター・関支所・図書館・歴史博物館・  
医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあいセンター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉関  
センター・健康づくり関センター・関B&G海洋センター・中央公民館・オアシス館・各地区コミュニティセンター・亀山郵便  
局・亀山駅前郵便局・市民のショップねこの館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)】ホームページ  
<http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/kirakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>